

エア・ウォーター北海道株式会社 様  
2024年度ふるさと応援Hプログラム寄付授与式 説明資料

# 小樽・後志救急医療連携事業



令和7年5月16日 小樽市 小樽市立病院  
OTARU GENERAL HOSPITAL

## 事業概要

- ▶ PACS（医療用画像管理システム）に接続して画像の表示・共有・書き込み編集が可能なアプリ  
医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」と必要な機器類を小樽市立病院・倶知安厚生病院に導入
- ▶ チャット機能・ビデオ通話・画像投稿などの機能により、両病院間等で救急患者の状態や画像を共有  
➔ 診断時間の短縮、遠隔でのコンサルテーションが可能となり、不必要な搬送を防ぐことができる  
救急車にタブレット等を搭載することで、搬送中の患者の状況を搬送先医療機関へ伝達できる

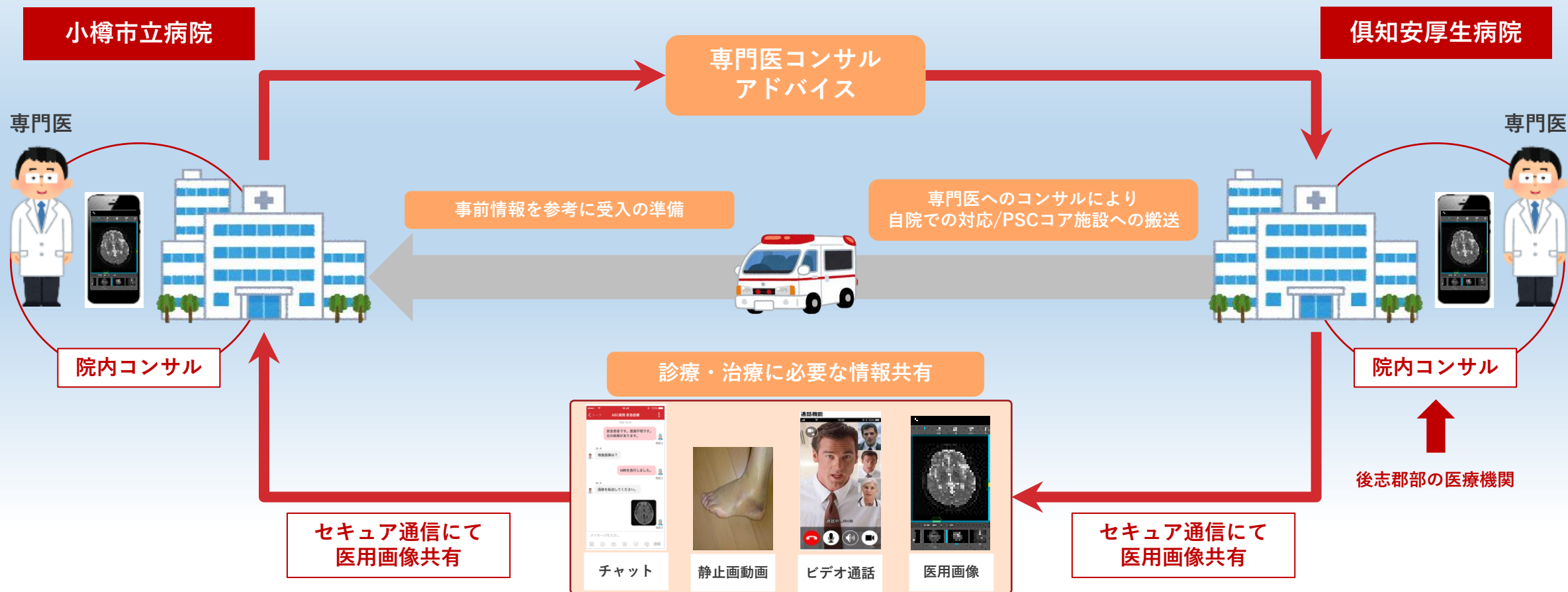
## 後志医療圏の現況

- ▶ 当圏域で脳血管疾患に係る急性期医療を担う医療機関があるのは小樽市のみ（市立病院を含む2箇所）
- ▶ 課題 ～ 「急性期における専門的治療を速やかに受けることができるよう、消防機関と医療機関及び医療機関相互の連携体制の充実が必要」  
「デジタル技術の活用により、効率的な医療機関間や地域間連携を進め、医療が継続して実施される体制を構築することが必要」
- ▶ 施策 ～ （医療連携体制の充実）「急性期から回復期、維持期まで切れ目なく適切な医療が提供できるよう、地域連携クリティカルパスやICTを活用した地域医療情報連携ネットワーク等を活用、連携体制の充実を図る」

## 運用イメージ

医療関係者間コミュニケーションアプリにより、DICOM画像を伴ったタイムリーな病院間連携を実現

- 病院間でのタイムリーな情報共有により、脳卒中患者の予後を改善
- 不要な駆けつけ・紹介の減少により、医師の働き方改革に寄与





JA北海道厚生連

ニセコ羊蹄広域 倶知安厚生病院



Join



地球の恵みを、社会の望みに。



エアウォーター北海道株式会社

ふるさと応援  プログラム